

GPS を活用した除雪機械運用支援システムの開発

2010 年 11 月 09 日～2010 年 11 月 10 日

平成 22 年度 建設施工と建設機械シンポジウム

岸 寛人（寒地機械技術チーム）／牧野 正敏（寒地機械技術チーム）／佐々木 憲弘（寒地機械技術チーム）

「冬期道路利用者の旅行速度の確保」、「道路維持管理の効率化によるコスト縮減」を目指し、当研究所では「除雪機械マネジメントシステム」の研究開発を行っている。除雪機械マネジメントシステムは、除雪機械の動態を GPS 及び各作業センサによりリアルタイムに把握・蓄積することで、除雪機械の効率的な運用を可能とするものである。[*] 平成 20 年度は除雪工区の弾力的な運用を行う「ダイナミック工区シフト支援」及び凍結防止剤散布車の「散布情報収集システム」を開発し、現場試行運用後のアンケート調査などからシステムの有効性を確認した。一方で、システムの表示速度改善や、気象観測情報、道路カメラ画像などの機能追加に関する改善項目を抽出し、平成 21 年度はこれらについて改良を行った。[*] 本報告では本システムの研究開発成果について述べる。

本論文閲覧ご希望の方は、当該学会等にお問い合わせください。